

令和4年度第2回大和市社会教育委員会議定例会（第32期） 会議録

会議名（審議会等の名称）		令和4年度第2回大和市社会教育委員会議定例会（第32期）
開催日時		令和4年7月4日（月曜日）午後3時00分～午後5時00分
開催場所		文化創造拠点シリウス6階 生涯学習センター601講習室
出席状況	委員	10人：伊藤（仁）委員、大川委員、大澤委員、小森委員、齋藤（正）委員、齋藤（道）委員、中山委員、箱崎委員、長谷部委員、丸田委員
	関係各課	4人：文化振興課長、図書・学び交流課長、スポーツ課長、こども・青少年課長
	事務局	2人：文化スポーツ部図書・学び交流課学び交流係長、同係員1人 学び交流係（259-6104）
	傍聴人数	0人
公開・非公開の状況		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
非公開・一部非公開の場合 はその理由		
		<p>1 会議次第</p> <p>（1）あいさつ</p> <p>（2）議長・副議長選出</p> <p>（3）協議事項</p> <p> 1）点検・評価シート（2）大和市生涯学習推進計画について（教育委員会所管分）</p> <p> 2）令和4年度社会教育委員に関する研修会等について</p> <p> 3）家庭教育支援に関する事業について</p> <p>（4）その他</p> <p>2 審議及び結果</p> <p>主な内容は次のとおり</p> <p><開会></p> <p><協議事項></p> <p>「1）点検・評価シート（2）健康都市やまとMANABI計画について（教育委員会所管分）」の施策目標1から3について、事務局より説明。</p> <p>（議長）市からの説明に対し何かご意見はあるか。</p> <p>（委員）P13の現代的課題対応講座は、他にどのような事業をしたのか。</p> <p>（市）いくつか紹介する。環境について、「雑草と虫と楽しむ庭からのヒント」を実施した。全3回の講座で、オーガニックでの庭づくり、藍の生葉染め、ハーブブレンドについて学習した。ノーマライゼーションについて、「繊細過ぎて傷つきやすいひとの気持ちと心のケア」を実施した。この講座では、職場や家庭などで気疲れしやすい繊細な人自身やその周囲の人に向け、その気質やケアの方法を学んだ。防災安全について、「親子防災サバイバル入門」を実施した。この講座では、防災の知識をゲームやクイズなどで楽しく学んだ。</p> <p>（議長）P18に、歴史企画展等の開催について記載されている。現在大河ドラマで「鎌倉殿の13人」が放送されているが、本市において関連イベント等を行う予定はあるか。</p>

(市) イベント観光課が8月に講演会を開催する予定である。また、つる舞の里歴史資料館で、和田義盛の企画展を実施する予定である。

(議 長) 続いては、施策目標2「学習を通じて人と人とのつながり、交流の輪を広げます」に関して、事務局より説明願いたい。

施策目標2について、事務局より説明。

(議 長) 只今の説明についてご質問やご意見はあるか。

(委 員) 2-(3)と3-(3)については評価がCになっている。この評価については妥当だと考える。学習センターまつりについては、団体間の積極的な取り組みが欠けているのではないかと思う。各学習センター内だけではなく、もっと外に出て他の組織や団体等と関わり合いを持てるように行政から指導してほしい。また、学校開放については利用者を増やすための打ち合わせなどを積極的に行った方が良いと思う。

(市) 学習センターまつりは、地域で活動している方がその地域に活動を広めたり、繋がりを作っていくことがメインとなるが、コロナの影響でその意識が薄くなってきている部分はあると思う。学習センターまつりについては指定管理者が企画、実施しているが、市が関与できる部分については指定管理者と話をしていきたいと思う。

(委 員) まなびの輪支援事業について、広報を学習センターに協力してもらって実施していると思うが、人と人との繋がりづくりを促進するため、座学よりもワークショップのようなことをしていくのがよいと思う。

(委 員) 学習団体の支援とは、具体的にどのようなことをしているのか。

(市) まずは学習団体の相談窓口として、各学習センターで活動の相談を受ける体制を整えている。人数がなかなか集まらないとか、広がっていかないなどの相談に対しては、より多くの方を対象にした講座開催の提案や、チラシの作成方法のような技術的な支援などを行っている。

(議 長) 行政も是非、社会教育主事の資格を活かして、指導者として活躍してもらいたい。

続いては、施策目標3「学習のための環境や仕組みの充実を図ります」に関して、事務局より説明願いたい。

施策目標3について、事務局より説明。

(議 長) 只今の説明についてご質問やご意見はあるか。

(委 員) 特別教室開放については、現状学校行事が優先される。事前に計画を立てても学校行事によって急遽使えなくなることもあるので、使いづらさを感じている。そこを解決しなければ利用率は上がってこないのではないかと思う。

(委 員) 特別教室開放は限られた学校で実施しているのか。

(市) 北部、中部、南部でバランスを考えて9校で実施している。学校行事が優先されるということを変えるのは難しいが、学校に負担がかからないような形で、より利用しやすくなるような方法については検討していきたい。

(市) 校庭・体育館の開放については、市内11地区に組織された地区学校開放事業実施委員会が施設の使用及び使用団体の管理指導にあっている。各地区の委員長が集まる連絡協議会で情報共有や課題の検討などを行っている。

(委員) 特別教室開放はどのような団体が利用しているのか。

(市) 歌や楽器など音楽をする団体は音楽室、陶芸をする団体は陶芸窯のある美術室の利用など、様々な団体が利用している。それぞれの団体の目的によって使用したい部屋を借りている。

(議長) 青少年指導員が減っている理由を教えてください。

(市) 今は委嘱ではなく依頼という形になっていて、ボランティアの教育行政協力員として活動していただいている。今年の6月末時点では99名となっており、昨年度の94名よりも増えている。昨年までの2年間は、コロナ禍でほとんど活動ができず、青少年指導員の人数も減ってしまった。青少年指導員は、現在自治会長から推薦をいただいた方をお願いをしている。しかし、自治会長が自ら地域の方々に声を掛けたり、実態を把握するには限界がある。現在検討している取り組みとしては、例えばPTA経験者に声を掛けていくことなどを検討したいと考えている。この場合においても自治会長の推薦は引き続き継続するため、現在自治連に相談しているところである。

(委員) 青少年指導員は自薦できないのか。

(市) 自治会長の推薦が必要となるため、青少年指導員を希望される方は、直接自治会長にご相談いただくことも1つの方法ではないかと思う。

(議長) では、3つある施策目標の説明が済んだので、大和市生涯学習推進計画全体を承認してよいか。

(委員) 異議なし。

～休憩～ (関係各課退席)

～再開～

「2) 令和4年度社会教育委員に関する研修会等」について事務局より説明。以下のとおり最終決定。

- ・ 県社会教育委員連絡協議会研修会：大川委員・伊藤(仁)委員
- ・ 社会教育委員連絡会議：丸田委員・小森委員
- ・ 県社会教育委員連絡協議会地区研究会(愛川町)：齋藤(正)委員・箱崎委員
- ・ 知ることからはじめる人権啓発研修講座：長谷部委員・齋藤(道)委員
- ・ 県公民館連絡協議会第64回県公民館大会：大澤委員・中山委員
- ・ 県社会教育委員連絡協議会地区研究会(箱根町)：伊藤(能)委員

「3) 家庭教育支援に関する事業」について図書・学び交流課の社会教育主事より説明。

(市) 前回の会議にて、今年度の実施日を11月5日、6日、12日、13日のいずれかで決定したいとしていたが、講師の都合が合わず、11月23日(水祝)に実施することとなった。社会教育委員は11名全員ご出席となっている。

続いて、会場である中央林間コミセンは、現在コロナ対策で各部屋に定員制限がある。講座を実施する予定の集会室の定員が27名、保育を実施する休養室の定員が6名となっている。当日の部屋ごとの人数については、講座を開催する集会室は、参加者16名、講師2名、社会教育委員9名で、合計27名。保育を実施する休養室は子ども最大4名まで、保育2名で合計6名。受付として社会教育委員2名。室外待機として図書・学び交流課職員3名の配置を考えている。

次に、社会教育委員の役割分担について。最初の挨拶は議長にお願いしたいが、司会1名、写真係1名、受付2名については、この場で決めていただきたい。また、写真係・受付係以外の皆様には、ファシリテーターとしてグループワークにご参加いただきたい。

役割は以下のとおり決定。

挨拶1名：丸田議長

司会1名：長谷部委員

写真1名：齋藤(正)委員

受付1名：伊藤(仁)委員、大川委員

(議 長) 続いて、前回の会議で行った、家庭教育に必要な支援の意見交換について、事務局より説明願いたい。

(市) 社会教育委員会議の活動成果をまとめていく上で、これまでの取組経緯や主催講座の状況を再確認したうえで、「地域ぐるみの家庭教育に必要な支援について」をテーマに、3分間で社会教育委員の皆様からご意見やお考えをお聞きした。前回の会議での、皆様のご発言をまとめたので、社会教育委員会議の活動成果としてまとめる参考にさせていただきたい。

前回欠席された箱崎委員からもご意見を頂きたい。

(委 員) 講座で学んだことを家や地域に持ち帰って循環していくとよいと思った。また、講座内で、親同士が情報交換する時間があるとよいのではないか。

(市) 家庭教育支援は親子という単位でやるのが大事なのではないか。家族の絆を深めることが、家庭教育として必要なことと考える。そのような事業を地域の団体が担っていければ理想的である。

(委 員) 3世代交流のため、地域の方が関わるような仕組み作りをしていくべきではないか。

(委 員) 単発の事業だとなかなか広がっていかない。学習センターの事業

計画に落とし込むことも一つの方法である。

(市) 一過性で、点だけになると発展していかないので、線にするために大和市で現在行っている家庭教育の事業を結ぶことが必要なのではないかと考える。

(委員) こども部など、他の部署でどのような事業があるのか知りたい。

(委員) 事業名に家庭教育と付いていなくても、家庭教育をしている事業は色々なところで行われているのではないかと。

(委員) 家庭教育につながる事業だと気づかずにやっているものがどれだけあるのかというのを洗い出していくことも社会教育委員として必要なことである。家庭教育シンポジウムのようなことを社会教育委員と市の共催という形で実施するのもよいと思う。

(委員) 現状を把握するために、事務局に市内で実施している家庭教育に関係のある事業についてまとめてもらうのがよいのではないかと。

(議長) 事務局には、今まで我々が実施してきた家庭教育支援事業の実績など、今あるデータ等を提供してもらえれば十分だと考えている。昨年度は下福田中学校区の家庭・地域教育活性化会議に協力していただいた。その地区の活動について教えてもらったが、せっかく良い取り組みをしているのにマンネリ化してきているのではないかと思った。家庭・地域教育活性化会議には、今後家庭教育という視点をもって活動していただきたいと考えている。皆様から出た意見を踏まえながら、出来れば今年度中に提言をまとめていきたいと考えている。

では、次回会議の日程について事務局より説明をお願いしたい。

(市) 例年では、家庭教育支援講座の実施後、そのアンケート結果を踏まえて11月末頃に第3回定例会を開催してきたが、家庭教育の方向性についてもう一度考える機会として、9月下旬頃に臨時会という形で開催したいと考えているが、いかがか。

(委員) 異議なし。

(市) ① 26日(月) 午後3時から

② 28日(水) 午後3時から

③ 29日(木) 午後3時から

以上の候補日から選んでいただきたい

(議長) 26日をお願いしたいのだが、いかがか。

(委員) 異議なし。

以上で議事を終わる。

<閉会>

会議資料

- ・令和4年度第2回社会教育委員会議定例会(第32期)次第
- ・第32期大和市社会教育委員名簿
- ・点検・評価シート(2)健康都市やまとMANABI計画(教育委員会所管分)
- ・令和4年度社会教育委員に関する研修会等(案)
- ・令和4年度家庭教育支援講座(開催要項)(案)
- ・家庭教育に必要な支援について(意見交換)